



「オレンジ支援チーム(認知症初期集中支援チーム)」が立ち上がりました♪

Q.オレンジ支援チームって？

認知症サポート医、医療・介護の専門職（看護師、精神保健福祉士、社会福祉士、介護福祉士等）で構成される認知症の支援チームです。

Q.どんなことをしてくれるの？

認知症の方やその疑いのある方、ご家族を訪問し、認知症についての困りごとや心配なことを確認してくれます。その上で、適切な医療や介護サービスの利用につなげるための初期支援を行ったり、症状にあったアドバイスなどをします。
※相談内容によっては支援チームにつながらず、地域包括支援センターが対応を行う場合があります。

Q.どんな人が対象なの？

- 40歳以上で自宅で生活し、認知症が疑われる人または認知症の人で、次のいずれかに該当する方。
- 認知症の診断を受けていない方。
- 継続的な医療サービスを受けていない方。
- 適切な介護サービスに結びついていない方、または中断している方。
- 認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に困っている方。



「認知症の症状が強くて対応に困っている」
 「認知症と診断されて介護サービスを利用したいけど、どうしたらいいの？」
 「認知症の治療を受けてほしいけど、本人が受診を拒否している」



こんなお悩みはありませんか？

まずは、地域包括支援センターにお気軽にお問合せ下さい！

地域包括支援センターは、65歳以上の方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、介護や福祉等の相談に対応する相談窓口です（畑賀小学校区・船越小学校区・中野小学校区を担当）地域包括支援センターもオレンジ支援チームと連携しながら、認知症の方やそのご家族が住み慣れた地域で安心して生活できるようにお手伝いしています。お気軽にご相談ください。

現在事務所が3階に移転しています。

【お問い合わせ先】
 広島市瀬野川・船越地域包括支援センター
 住所：広島市安芸区中野三丁目9-5
 電話番号：082-893-1839
 FAX：082-893-1866
 E-mail：se.fu.chiiki3@jiraku.or.jp



たれゆえそう



皆様、こんにちは！早いもので包括便りたれゆえそうも第9号を迎えました。
 この夏は、コロナ禍で1年延長された東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。無観客でありながらも、選手の頑張りに思わず熱くなって応援した方も多いのではないのでしょうか。季節は徐々に暑さが薄れ、秋を感じるようになりました。季節を感じる時は、五感がとても働いているようです。見る、聞く、触れる、匂う、味わう…そんな感覚をしっかりと使って、刺激のあるおうち時間を過ごして頂きたいと思います。今回は皆様にお知らせしてほしい情報を集めましたので、ぜひ一読ください。



身近に潜む 悪質商法

～こんな言葉に気を付けましょう～

「無料で点検しますよ」

家を訪問し、「このままでは大変なことになる」など不安をあおって高額な契約をさせる。



「不要な物を買い取ります。」

家を訪問し、宝石や貴金属などを強引に買い取る。

「必ず儲かりますよ。」

儲かることを強調し、リスクを十分説明しないまま投資等の勧誘をする。



だまされない！！3つの心得

- ① その場で契約せず、誰かに相談する
- ② 断るときは「いいません」とはっきり言う
- ③ 「無料」「見るだけ」にだまされない

消費者ホットラインも188（いやや）泣き寝入り！まで



耳より情報②

令和3年度
中野地区民生委員・児童委員協議会
居宅介護支援事業所交流型勉強会

講義：「知っておきたい、
コロナウイルス感染症対策Q&A」

訪問看護ステーションレジハピ
感染管理認定看護師 篠原久恵氏



7月28日(水)民生委員・児童委員と居宅介護支援事業所の
介護支援専門員とオンラインで交流型勉強会を開催しました。
コロナウイルス感染症対策の講義、民生委員・児童委員、
介護支援専門員が互いにコロナ禍における活動への質疑応答
を行いオンラインではありますが交流を行いました。



改めて！できてますか？正しい感染症対策♪

①マスクについて

マスクの正しいつけ方について今一度見直しましょう。使用後のマスク表面は微生物に汚染されている可能性がある為触れないようにしましょう！



②接触感染に注意



かかった方のおよそ80%が接触感染によるものです！特に飲食の前には手洗い消毒をする習慣をつけましょう！ドアノブ等が多く触る箇所はこまめに消毒しましょう。

③丁寧な手洗い

汚れが残りやすい部分の図を参考に日々の手洗いを見直しましょう。

「石鹸やハンドソープで10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぐ」を2回繰り返すと効果的です。



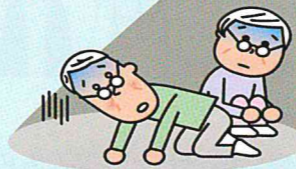
耳より情報③

高齢者虐待 ～介護を頑張りすぎていませんか？～

一生懸命介護しているうち、気づかないまま、不適切な対応をしてしまっていることもあります。

虐待を減らすには、介護者の精神的・身体的な負担を軽くすることが大事です。

積極的にサービスや制度を利用してみましょう。介護保険サービスについては地域包括支援センターにお問い合わせください。



これも虐待に当たります



- ・本人に無断で預金や年金を使っている。
- ・同じことを何度も言うから無視をしている。
- ・人前でおむつを替えたり裸のままにしておく。

- ・トイレで失敗するので怒鳴って叱る。
- ・認知症で外聞が悪いので外出させない。

※一人で悩まず、ご相談ください。



耳より情報④

Let's脳活!!

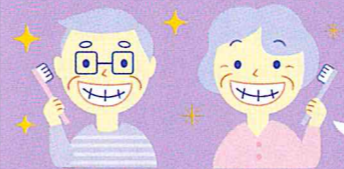
～脳を活性化してますます元気に～

右と左の絵には、7か所間違いがあります。どこでしょう?? (答えは裏面にあります。)

間違い探し



いつもと違うことにトライ!



聞き手と反対の手で歯磨きをしてみましょう♪

散歩コースを変えてみましょう♪



2つのことに同時に挑戦!



足踏みしながら野菜の名前がいくつ言えるかやってみよう♪

レベル1...5個以上
レベル2...10個以上

レベル3...20個以上
レベル4...30個以上